

## 令和元年度第1回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 令和元年7月1日（月） 午後3時～4時30分

2 開催場所 市役所10階 協働会議室

3 出席者 （委員）

鈴木委員、矢ヶ部委員、垣田委員、谷田部委員、森委員、松井委員、西脇委員、榑崎委員、高橋委員、百瀬委員、梅津委員、濱野委員、多田委員

（事務局）

白石部長、醍醐次長、亀山課長、千鳥学校給食センター前田所長、岡本主査、新井主査、鈴木副主査、林田主任栄養士、前野栄養士、伊藤栄養教諭、大澤栄養教諭

4 議題

(1)会長及び副会長の選出

－事業報告－

(1)令和元年度浦安市学校給食センター事務概要について

(2)学校給食の食物アレルギー対応について

(3)学校給食食材の放射性物質検査について

－行事報告－

(1)令和元年度夏休み千鳥学校給食センター見学・試食会について

その他

(1)次回の会議日程について

5 議事の概要

会議に先立って、委嘱式を執り行った。各委員に教育総務部長より委嘱状を交付したのち、教育委員会より教育総務部長の挨拶、委員及び教育委員会職員の紹介を行った。その後、会議に移り審議事項では、委員の互選により市内小学校長代表の鈴木委員が会長に承認された。

副会長には、委員の中から会長が市内中学校長代表の矢ヶ部委員を選任し承認された。事業報告について、(1)令和元年度浦安市学校給食センター事務概要、(2)学校給食の食物アレルギー対応、(3)学校給食食材の放射性物質検査について事務局より資料をもとに事業報告を行った。

行事報告について、(1)令和元年度夏休み千鳥学校給食センター見学・試食会について、事務局より資料をもとに行事内容の報告を行った。

次回会議の開催は、11月中旬に千鳥学校給食センターで開催することに決定した。

## 6 会議経過

### —事業報告—

#### (1) 令和元年度浦安市学校給食センター事務概要について

##### (委員)

ナッツ類にアレルギーを持つ児童が多い中、県民の日献立には千葉県名産のピーナッツを出したかったと思いますが、献立を工夫しピーナッツ風味で対応していただき、良かったと思います。

ナッツ類でも「アーモンド」は食べられるので、「クルミ」は大丈夫だと思い食べたところアレルギーが出たという事もあるので、その日の体調にも関係してくると思います。

担任が子どもの状態を理解できるまでの4月から5月初旬にかけては、ナッツ類の献立を控えていただきたいことと、「クルミ和え」のように中に入っているのが分からない場合、うっかりということもあるので、年度初めの献立には数を減らして欲しい。

また、給食のデザートで「蒸しケーキ」は1個、対応食の児童には、「南瓜マフィン」2個ついているのは何故ですか。

##### (事務局)

ナッツ類の誤食を防止するため、特に年度当初の4月から5月については原因食品の使用を控えたり、数を減らすなど献立の工夫ができないか、アレルギー対応食の担当栄養士と検討していきたいと思います。

また、対応食のデザート「南瓜マフィン」2個で、通常食の「蒸しケーキ」1個分に相当する量となっています。今のところ、卵・乳を除いた代替りの食品は小さいものしかないため、対応食の児童には「南瓜マフィン」2個を提供しています。

今後、業者からその他の食品見本があれば検討し、対応していきたいと思います。

##### (委員)

P T Aが学校を会場に実施した給食試食会は、保護者から好評をいただきましたが、保護者側からの意見や感想等の声は、センター所長に届いているのか。他の学校の状況を踏まえて伺いたい。

##### (事務局)

P T Aが校内で実施する試食会について、保護者からの感想等の声は学校を通してセンターに届けられるケースもありますので、学校に確認していただきたいと思います。

#### (2) 学校給食の食物アレルギー対応について

##### (委員)

アレルギーを持つ児童の保護者から不満を聞いたことはありませんが、人数が少ないため、声が小さくなることもあるので、そのような方々を対象の説明会があっても良いのではないかと。

##### (事務局)

給食センターでは、毎年、就学前のお子さんの保護者及び中学校の場合、小学6年生の保護者を対象に説明会を開催し、必要な書類の提出をお願いしています。

また、小学校では、毎年6月に対応食を提供している児童の保護者を対象に、アレルギー対応食の試食会を開催しています。(中学校の試食会はありません。)

(委員)

対応食では対応できなくて、家から弁当を持参している児童はどの位いるのか。

(事務局)

弁当を持参している児童生徒数は把握していませんが、希望者には、給食の使用食材を詳しく示した食品材料一覧表を配布しています。6月時点での配布数は、小学校が492名、中学校が169名となっています。

### (3) 学校給食食材の放射性物質検査について

(委員)

東日本大震災の影響による原発事故以来、食品の放射性物質を心配して給食を止める方が多かったと聞いているが、今でもそれを要因として弁当を持参している児童生徒はいるのか。

(事務局)

原発事故から8年経ったこともあり、現在、食品の放射性物質を原因として、給食を止めている児童生徒数は把握していません。

(委員)

原発事故の発生当時は、給食を停止する方はいましたが、今ではそれを理由に給食停止している方はいません。

(委員)

月2回、食材のサンプル検査を実施しているとのことですが、仕入れ業者側としての安全確認は行っているのか。

(事務局)

仕入れ事業者及びメーカー等において、独自に放射性物質検査を実施した場合は、証明書の提出を求めています。

## —行事報告—

### (1) 令和元年度夏休み千鳥学校給食センター見学・試食会について

(委員)

今年度の申込者数は99名と伺いましたが、過去の申し込み状況は。

(事務局)

過去の申し込み状況については、平成27年度が132名、平成28年度が74名、平成29年度が151名、平成30年度が103名となっています。

なお、抽選により落選した方には、次年度優先的に抽選する枠を設けています。

## 7 その他

(委員)

アレルギー対応食について、誤食を防止するため、担任の責任は重く日々、神経を使いながら取り組んでいることを知っていただきたい。

(委員)

食物アレルギーを持つ児童生徒のエピペン使用について、学校側で義務付けている

のか、それとも保護者の考えに委ねているのかお聞きしたい。

(委員)

学校からは、エピペンを強制的に持ってくるようなことは伝えていません。

しかし、小学生で過去にアナフィラキシーを起こしたことがある、又はその恐れがあると医師に言われたことで、念のために持ってくる保護者が増えています。

また、市保健体育安全課によって、年度当初にエピペン持参の有無等についての実態調査が行われ、調査内容を消防署に提出するなどの対応を行っています。

(事務局)

学校給食の献立等に関するアンケート調査への協力を依頼した。

次回会議について、第2回運営委員会を11月中旬に千鳥学校給食センターで開催することを確認した。